



麻生多摩美の森だより

57

麻生区市民健康の森 —麻生鳥のさえずり公園—

麻生多摩美の森の会広報紙第 57 号 2019 年 10 月 31 日発行

発行人：会長 井上 正樹 編集者：田中 肇

植樹祭&収穫祭 2019

会長 井上 正樹

会長就任後 3 回目の植樹祭・収穫祭を迎えるに当たり、今年の方針を紹介します。

① 植樹

昨年植えたドングリから芽が出て、なんと 9 本の苗木に成長しました。来年は森の中に植樹しようと思っています。今年はその下の旧畑の所（協議会に参加後、畑として使用不可）に、初年度は 3 本の実のなる木を予定しています。樹種は検討中です。

② 森の中のふしぎ観察

今年は宙と緑の科学館の堀内さん、プレーパークを創る会の飯野さん、副会長の中谷さんにどういう風にするか検討依頼中。いずれにしろ昨年同様ビンゴゲーム等、子ども参加型になる予定です。

③ 里山の幸を楽しむ

昨年同様、子ども会や多摩美みどりの会の女性会員に加え、お子さんがお手伝いしてくれるけんちん汁、焼き芋、ゆで里芋、マシュマロ焼き等を予定しています。

④ 森の音楽会

昨年同様、多摩美太鼓、アルプホルンの演奏。子供が楽器に触れる機会も設けます。

新会員自己紹介

増田 安男

昭和 17 年 1 月、世田谷生まれ。77 歳。三軒茶屋、成城で小中学を過ごし、割烹での住み込みでの修行を経て鮎屋を長年経営。現在は多摩遊歩道に程近い自宅にて悠々自適の生活です。森の会には 7 月に入会。きっかけ



は日課である遊歩道散歩での大谷さんとの出会い。植物が好きなの同士、ボランティア活動に話が及び、翌日には井上会長が自宅を訪ねてきて即入会を決めました。趣味

は 40 年来の尺八と盆栽。小さなもみじの苗を見つけては自宅に持ち帰り、庭で大事に育てています。月 4 回の活動では満足できない程、現場活動派。毎回の活動が楽しくて仕方がなく、追加で作業を申し出ています。今後の目標としては、植物の名前を沢山覚えたい。また、奇数月に実施しているメンバーとの懇親会の場で料理の腕を振るうことを目指し、まずは日々の活動に専念したいと思います。

西生田小学校環境体験学習講座を終えて

堀内 慈恵

9月25日、西生田小学校3年生の環境体験学習講座が行われ、132人の元気な子ども達が多摩美の森に集まりました。始めは副会長中谷さんから、事前に集めた質問をもとに、多摩美の森についてと森を守る活動についての話がありました。

その後、グループに分かれ、鎌、鋸、草刈り機などの道具を、実演を交えて紹介しました。子ども達は、「これ、見たことある!」「使ってみたい!」など興味津々の様子。そして、残りの時間は森の生き物探しです。一斉にみんな走り出し、バッタやコオロギの仲間を追いかけました。一方で「虫がこわい・・・」と泣きだすグループも。そこで、小さな小さな花、キツネノマゴと一緒に観察しました。普段は気づかない小さな花に、「かわいい〜」の声。キツネノマゴは小さいながらその蜜を目当てにいろいろな虫が集まる植物です。ちょうど小さな小さなチョウ、ヤマトシジミがやってきました。みんな蜜を吸う姿にくぎ付けになりました。それからは、チョウの翅の模様の違いに気づいたり、オンブバッタの顔を観察したり。こわかった虫とも少し仲良くなれたかな。西生田小のみんなが、また友達や家族と多摩美の森に遊びに来てくれたら嬉しいですね。

(かわさき宙と緑の科学館 学芸員)



「アボイド調査」研修会へ参加して

田中 肇

先日、川崎市公園緑地協会・主催の「アボイド調査」研修会に参加した。アボイド調査という聞きなれない言葉。英語で書くと Avoid となり、「避ける、よける、回避する」という意味となる。

日頃、森の会の活動を通して、森の中を歩く機会が多いが、森の中で避けなければならないものはなんだろうか？ 毒蛇やスズメバチ、等、身近なところに危険は隠れており、それ以外にも予期せぬ枯れ枝の落下や倒木等も考えられ、それらから自らの命を守ることが大切である。活動の拠点である多摩美の森の木々も歳を重ねた木々が多くあり、人間と同様に病気や寿命、天災、等により死に至る。近年、台風も大型化し、葉を茂らせた大型の木々にとって強風はとても怖い存在である。アボイド調査ではこのような木々を調査し、事前に知っておき、川崎市と情報共有することで、危険度の高い木を早急に対処してもらうことが目的である。森を歩きながら、日頃目を向けない高い枝を見てみると、枯れ枝が見つかるだろう。

研修では夢見ヶ先公園の木々を教材として「約1時間」をかけて講師と共に調査を実施した（2019/5/25 実施）。



写真：複数本の枯れ枝の様子



写真：幹の亀裂の様子（桜の木）



写真：研修会の様子（調査活動中）

マヤランを見つけて

中村 浩

それは7月21日であった。上の畑の東側のヤマユリが開花しているのに雑草の中に埋もれていた。ヤマユリの花が良く見える様に、鎌で雑草を刈り取っていた時に、白っぽい物が現れ最初はゴミの様に見えた。後日 田中さんが調べてくれてマヤランであることが判明した。



ウィキペディアによれば: 関東から九州までの常緑広葉樹林や古い二次林に生える菌従属栄養植物(腐生植物)で、レッドリストに絶滅危惧 II 類として記載されているそうである。今後の課題として、マヤランを保護していくとしてどの様に環境整備をすれば良いか分からない事である。

今後の活動予定

副会長 中谷 一郎

令和元年8月に「宙と緑の科学館」が公募でセミの抜け殻調査、9月に西生田小3年生132人が森に来てくれ、昆虫探し等を行い、楽しい時間を持ってました、近隣の皆様も、会員以外の皆様も気楽に子どもさんと森にお出かけ下さい。

今後の活動予定は下記の通りです。

- 11/4 (月) 里芋の収穫、多摩美子供会
- 11/16 (土) 植樹祭・収穫祭準備
- 11/16 (土) (公財)公園緑地協会主催、交流事業__里山編、場所:川崎市総合自治会館(武蔵小杉駅)
- 11/17 (日) 第18回植樹祭・収穫祭
- 12/7 (土) 草刈、樹木の整備、清掃
- 12/15 (日) 草刈、アズマネザサ手入
- 12/21 (土) 万福寺人参品評会の参加
- 12/28 (土) 作業納め、注連縄、清掃
- 1/4 (土) 作業初め、お浄め、会食
- 1/19 (日) 草刈、樹木手入、清掃
- 2/1 (土) 樹木、アズマネザサ手入
- 2/16 (日) 樹木の間伐、草刈、清掃
- 2/22 (土) 里山フォーラム in 麻生 出展

作業時間は10月から5月までは

10時から12時までです。

<http://web-asao.jp/hp2/tamami/>



←当会ホームページで本紙のバックナンバーもご覧ください。当会 Facebook ページはこちらです。→



<https://www.facebook.com/asaotamaminomorinokai/>

会員募集中(年会費 1,000 円)

一度見学にお出で下さい。里山の楽しさを親子で味わって下さい。

皆さんの投稿、感想をお寄せ下さい。

お問い合わせ・連絡先: 井上 正樹

090-6019-3788 famcv643@ybb.ne.jp